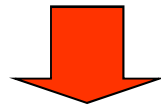


二液混合型エアゾール システムのご紹介

二液混合型エアゾールとは

容器内では共存できない二液の一方を噴射剤とともに容器に収納し、他方の原液を同一容器内の別容器に収納したエアゾール



容器内で主剤と硬化剤が長期的に隔離された状態を維持されていることが重要

製品容量の目安

①製品容量と主剤、硬化剤比率の目安

製品内容量の目安 (噴射剤含む)	主剤	硬化剤
約280ml	2	1
約350ml	4	1
約400ml(MAX)	10	1

②硬化剤容器の種類

サイズ	容量
25φ×TH100	40ml
23φ×TH85	20ml

主剤、硬化剤の比率
に応じて使い分け可

まとめと今後

- ・スプレーガンのように塗料の混合や洗浄が不要

- ・エアゾールタイプなので、持ち運びが便利

今後

- ・二液エアゾールの横展開

(接着剤、プライマー、各種コーティング剤等)

- ・水系製品への展開

- ・製品サイズ、部材選定の幅を増やす